

平成25年5月20日

浜田市議会議長 濱松三男様

議員名 芦谷英夫



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成25年4月20日(土) 13:00～16:45
2. 研修内容 遷宮記念シンポジウム in 出雲
「伊勢神宮と出雲大社～遙かなる神社建築の源流を求めて～」
3. 研 修 先 出雲市民会館
4. 調査経費 2,900円
(経費内訳 浜田駅⇄出雲市駅往復 JR利用)
5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり

遷宮記念シンポジウム in 出雲

◎期 日 平成25年4月20日（土）

◎場 所 出雲市民会館

◎概 要 演題 「伊勢神宮と出雲大社～遙かなる神社建築の源流を求めて～」

特別講演「起源をくりかえす御遷宮～伊勢神宮と出雲大社～」

講師 出雲大社権宮司 千家和比古

島根県立古代出雲歴史博物館名誉館長 上田正昭（京都大学名誉教授）

○遷宮記念シンポジウム in 出雲「伊勢神宮と出雲大社～遙かなる神社建築の源流を求めて～」が開催され、約1200人の聴衆が聞き入った。今年、伊勢神宮は20年に一度の式年遷宮を迎え、出雲大社では60年ぶりとなる「平成の大遷宮」本殿遷座祭が行われる。これを記念してシンポジウムなどがシリーズで行われている。

○神戸大学の黒田龍二教授は、奈良県桜井市にある纏向（まきむく）遺跡を紹介し、この遺跡はヤマト政権発祥の地、邪馬台国の候補地とも目されており、ヤマト政権の権威の象徴である前方後円墳が出土している。また纏向遺跡にある建物跡の特徴から、王の宮殿に似せて作られたのが出雲大社本殿、宝庫に似ているのが伊勢神宮との見解を示され、この遺跡に大社と神宮の建築の源流を見ることができるとのことである。

○天照大御神は天つ神、大国主命は国つ神とも称され、それぞれ天下を治め、国土を治めたとされ、国譲り、神譲りの伝説のとおり、国土や権威を天照大御神に譲り、出雲の地に高層の神殿を造営したとされている。ヤマト政権のあった奈良盆地から、日出ずる伊勢に神宮を置き東西軸を、日没する出雲に大社を置き南北軸を基軸とし、出雲大社は大陸を視野に入れていたともされている。

○古事記や日本書紀に疑問をはさむ学説もあり、邪馬台国やヤマト政権の説も定まっておらず、それとの関連で伊勢神宮や出雲大社のことを確定的に言い定めることはできないが、いわば神話としてロマンをもつことにも意味がある。全国に8000社あるとされる神社にもそれぞれ祭神があり、この地方にある神社についても由緒の探索、地域資源として観光資源としての新たな発見などの作業も必要である。—以上—